

■ 教育目標「学び合い 高め合い ともに伸びる子」



佐渡市立七浦小学校

学校だより

令和3年2月24日発行  
学校だよりNo.12

佐渡市立七浦小学校  
佐渡市稲鯨1312番地

Tel: 0259-76-2322

Fax: 0259-61-4955

mail: nanaura-es@sado.ed.jp

♪来られる時 に 来られる方 から さわやか あいさつ うらら ななうら♪

3月は、8日(月)に開催! 7:40~8:00 玄関前でお待ちしています!

## 元気になるちょっといい話

校長 山口 明美

「冬来たりなば 春遠からじ」この言葉は、イギリスの詩人シェリーの「西風に寄せる歌」という詩の一節です。つらい厳しい季節を過ごせば、やがて暖かい春が来る。苦しい時期を堪え忍べば、幸せな時が必ず訪れるとでも要約できるでしょうか。今年の冬の寒さの厳しさや、先行きが不透明な新型コロナウイルス感染拡大への対応で疲弊した状況を、明るく前向きな雰囲気へ切り替えて学校を元気にしてくれたのは、いろいろな分野の専門家が唱える言葉より、学校中に響く子どもたちの元気な声です。感謝しかありません。

保健室の掲示板に「レジリエンス（回復する力）」について紹介されていました。読んでいくうちに私自身元気が湧いてきましたので、そのまま引用させていただきます。

私たちは、失敗したり事故や災害にあったり、親しい人と別れたりすると、とても落ち込みます。もう2度と立ち直れないと思うかもしれません。しかし、実際には時間がたつにつれ、少しずつ立ち直り心の傷も癒やされていきます。それは、私たちが「レジリエンス」という落ち込みから立ち直る力をもっているからです。

人は、落ち込みから立ち直る時、元の状態にもどるだけではありません。その経験を経て人間として成長することができるのです。なくしたものはもどってきませんし、悲しみはなかなか消えてくれないかもしれません。しかし、心に刻まれた悲しみの記憶は、命をいつくしむ心となり、自分を支えてくれた周りの人への感謝は、ほかの人への優しさとなります。そして、一連の経験は、そのまま立ち直れる自信となって残り、その人のレジリエンスをさらに高めてくれるのです。



「立ち直る時、元の状態よりもさらに成長することができる」という一節に、子どもたちが落ち込んだ時には、なんとしても回復できるように支えてあげる学校でなくてはならないと思いました。そして、子どもたちがへこたれず元気でいられる学校の役割の重さも感じました。令和2年度ももう少しで終わります。やり残したことがないように取り組んでいきたいと思ひます。